

アブレし手当の引上げ確定

で、日健はどうなったか

大阪府健康保険課の差別行政は続く

今週に入って釜ヶ崎日雇

労働組合・争議団がセンタ

ーでじょうを配っている。

アブレし手当が九月から六

千二百円になるが、それが

もらえるためには、八月か

ら新一級印紙(濃い青色)

を貼っていないければならな

い、それを周知徹底させ

るために。

八月に入れば、具体的に

貼らない業者に貼らせるこ
とが行動課題になる。

単価の引き下げや食費付

の引き上げなどを行なって

いる。業者らの追求ともど

も、みんなの力で闘わね

なければならぬ。

九月に認定資格のあるも

のは、全員が六千二百円も

らえるよう、相手あつての

話だから、要求していこう。

さて、もう一つの相手あ
つての話、日雇健康保険は
どうなったのだろうか。

日健が廃止され、健康保

険法が改悪される。これで

はむしろのいのちと健康は

守りきれないと、センター

で反対署名が集められ、東

京まで勝利号で行って厚生

省社会保険庁の役人と交渉

も行なった。府庁までデモ

もした。その結果はどうな

ったか。

当然のことながら、我々

の正当で、最低限の要求で

ある、みなし適用は維持

されることになった。運動

の一定の成果はあつたとい

えよう。

しかし、医療費の一回負

担のこと、あるいは「みな

し適用」であることによつ

て受ける差別的なとり扱
いなどのことはまだ解決
されておらず、大阪府健
康保険課は、これからも
差別的取扱いを続けるこ
恥しらずにも眉直ってい
る。

健康保険法改悪反対の

闘いは、多くの人々によ

つて闘われ、国会での審

議も長期化した。そのこ

とで一定成果があつた。

しかし、釜にこつては、

結果待ちの時間が長すぎ

たようだ。肉争の後半戦

に突入するまで、ヤヤマ

ナヤマかせ的なことにな

った。

再度ネジを巻き直し、

府、健康保険課の差別行

政を糾弾し、我々の健康

を確立しなければならぬ。

テーマはありあまってる

けい全然出
えへん・文
句いうたら

テーマなしではじめたものの、出てくる話題は
いずれも重い物ばかり。前々回にも出た天王寺公
園の「アオカシ」家族の問題から認定アツプまで
釜をとりまく問題のタネは尽きないようです。



「西成区の
福祉(区役
所内)の話

「天王寺公園の家族はダンボー
ル集めをしているらしいけど子
供らも母親についていってらら
しい」

では西成は生保が多いんで監督
もきついらしいし、係の人も肩
身が狭いらしい。金が出ていく
ばかりで」

「家族マルゴと、援助するいう
ことが住所・住民票のことまで
けへん」

「生保をもらうのは恥しいこと
で、身も心もいさなくなってる人
がほんどわがわが」

「その中に大阪はドヤとか日払い
アパートを住所と認めてない」

「税金は納めるもんで払いもど
すもんとちがつという意識が強
く心の中にあるからな」

「ハツネはんかで居宅保護を受
けてる人もあるけど、単身の昇
寄りやし、例外的なことや」

「入院してた時に、看護婦から
ヘアリタは、千円しかもってな
いの」と言われて頭に来たし

「飯場のマカナイにでも入るの
が一番やな、学校の問題がある

「貧乏なことをバカにするのは

けしからんけど、貧乏であ
るからこそ、福祉が心算や
きまらんと主張せないかん
し、貧乏は恥とはらうんやと
いうことを認めさせないかん

「だいたい、金持ちは貧乏人か
ら金を集めて税金を納めとんね
んからその金を貧乏人が国から私
いもどすのに何の不都合もない
はずや」

「この前飯場に行ったら釜日労
が出してる労働者手帳をもち
ってる人には百五十円のラーメ
ンが百円になってたで」

「ヤッぱりこままでの闘いの影
響やな」

「この前、ラーメ、食べよと思
て自動販売機に金を入れたんや

「仕事はいえまてきていさけどま
だ中途半端な状態や、減ること
は益までないとは思わんけど」

「西成の労働者やからとバカに
しとらんや、人間よりも機械を
信用しよる」

「アブレで千円足らんかったの
と同じ差別やな」

「アブレと言えは九月からあが
るらしいな、市の方では七六%
の人は新二級でいける言うてま
けど、はっキリとさせまはれは
あるで」

「仕事はいえまてきていさけどま
だ中途半端な状態や、減ること
は益までないとは思わんけど」

「仕事はいえまてきていさけどま
だ中途半端な状態や、減ること
は益までないとは思わんけど」

「仕事はいえまてきていさけどま
だ中途半端な状態や、減ること
は益までないとは思わんけど」